



2020年7月27日

各 位

会 社 名 トランコム株式会社  
コード番号 9058 (東証・名証第1部)  
代 表 者 代表取締役 社長執行役員 恒川 穰  
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 経営企画グループ担当 中澤 圭亮  
T E L 052-939-2011

## 2021年3月期 業績予想(連結)に関するお知らせ

当社は、2020年4月27日付ニュースリリース「2021年3月期業績予想(連結)及び新中期経営計画の公表延期について」のとおり、2021年3月期の連結業績予想については新型コロナウイルス感染拡大の影響により、適正かつ合理的な算出が非常に困難な状況にあることから「未定」としております。

本日発表しております2021年3月期第1四半期業績は、コロナ禍の影響で国内輸送の需要が減衰し、コア事業である物流情報サービス事業はその影響を大きく受け、貨物情報は大幅に減少しました。6月中旬以降は徐々に回復傾向にはあるものの、いまだ不透明な状況であります。またインダストリアルサポート事業においては、自動車関連の生産工場への人材派遣サービスがこの事業売上高の約4割を占めることから今後の自動車業界の事業環境の変化が当事業の業績に大きく影響を与える可能性があります。

一方、ロジスティクスマネジメント事業においては、食品・生活衛生品・日用雑貨品などがメインの3PL事業であることから、コロナ禍による巣ごもり需要で物量は増加しております。とりわけ個人宅配ニーズの高まりによる業績へのインパクトは大きく、当事業は好調に推移しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大第2波の懸念もある中で、当グループの事業環境、業績に与える影響は不確実であります。

当社グループとしては、社会経済の変化に厳しさを受け止める一方で、コロナ禍の影響を少しでも抑える取り組みを推進するとともに、全社でコストへの強い意識を持ちコストコントロール施策を検討・実行することで、盤石な収益基盤を再構築してまいります。同時に、コロナ終息後に新たに生まれる社会的課題や物流構造の変化を事業戦略に組み込み、積み上げてきた強い財務基盤を活用した積極的な投資を進めていきます。

上記状況に鑑み、第1四半期決算発表での業績予想公表は「未定」とさせていただきます。各事業における適正かつ合理的な業績予想の算出、収益確保に向けたコスト改善効果が一定の合理性をもって算出できる状況になりましたら、速やかにお知らせいたします。また、今期は盤石な事業基盤の構築に注力する1年と位置づけ、新中期経営計画につきましては2021年春ごろの発表とさせていただきます。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上